

香川県教育委員会 9月定例会会議録

1. 開催日時 令和2年9月11日(金)
開 会 午前 9時30分
閉 会 午前10時32分
2. 開催場所 教育委員室
3. 教育委員会出席者の氏名
教育長 工 代 祐 司
委 員 藤 村 育 雄
委 員 小 坂 真 智 子
委 員 平 野 美 紀
委 員 槇 田 實
委 員 藤 澤 茜
4. 教育長及び委員以外の出席者
副教育長 小 川 秀 樹
教育次長兼政策調整監 井 元 多 恵
教育次長 小 柳 和 代
総務課長 白 井 道 代
義務教育課長 原 田 智
高校教育課長 金 子 達 雄
特別支援教育課長 北 村 宏 美
保健体育課長 宮 滝 寛 己
生涯学習・文化財課長 渡 邊 智 子
政策主幹兼総務課副課長 福 家 啓 充
生涯学習・文化財課副課長 愛 染 伊 知 朗
総務課長補佐 岩 田 篤 志
義務教育課長補佐 西 原 明
義務教育課長補佐 高 尾 明 博
保健体育課長補佐 渡 邊 浩 司
総務課副主幹 豊 嶋 千 秋
生涯学習・文化財課副主幹 亀 井 三 輪
義務教育課主任管理主事 川 上 り 彩
高校教育課主任管理主事 太 田 大 介
義務教育課主任指導主事 小 山 圭

保健体育課主任体育主事	藤 田 航
総務課主任	真 田 啓 介
義務教育課主任	西 勇 気
高校教育課指導主事	水 野 伸 吾
生涯学習・文化財課社会教育主事	田 中 三 千 洋

傍聴人 なし

5. 会議録の承認

8月定例会の会議録署名委員の平野委員から、同定例会の会議録について適正に記載されている旨報告。

各委員に諮り、これを承認した。

8月臨時会の会議録署名委員の榎田委員から、同臨時会の会議録について適正に記載されている旨報告。

各委員に諮り、これを承認した。

6. 非公開案件の決定

教育長から、本日の議案第2号、第3号及び第4号は、教育委員会において会議を公開しないことと定めているもののうち、「個人に関する情報であって、公にすることにより、なお、個人の権利利益を害するおそれがあるもの」及び「県の機関が行う事務に関する情報であって、公にすることにより人事管理に係る事務に関し、公正かつ円滑な人事の確保に支障を及ぼすおそれがあること」に該当するため、非公開としたい旨を発議。

各委員に諮り、非公開とすることに決した。

7. 議 案

○議案第1号 教育委員会の事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書について

総務課長から、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づく、令和元年度における教育委員会の事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書について諮る旨、説明。

【質疑】

<藤村委員>本県出身のオリンピック出場選手の目標は5人以上だったと思うが、オリンピックの開催が1年延期された中で、目標は達成できそうか。

<保健体育課長>来年開催されれば、バドミントンの桃田選手やバスケットボールの渡邊選手は、出場が有力と考えている。ハンドボールでは高松商業高校出身の3選手が日本代表候補になっていたが、その内の1人が昨年ケガをして心

配していたところである。開催が延期になったことで、何とか間に合ってくれるのではないかと思っている。その他に、フェンシングやカヌーなどの競技でも出場が期待できる選手がおり、5人以上の目標は達成できるのではないかと考えている。

＜教育長＞先ほどの説明の中でもあったが、二極化という言葉が色々な報告書等で使われている。学力も二極化しているし、生活習慣も二極化していると言われている。家庭の保護者の方々に色々言っても、聞かない人は聞かないという状況になっているように感じており、そこにどうアプローチしていくかを今後考えていかないといけないと思うが、何か方向性等はあるのか。

＜生涯学習・文化財課長＞現在、来年度に向けた新規事業を考える時期であり、家庭教育の二極化で、この家庭に届けたいものが中々届かないというところで、学校単位のモデル事業として、まずは生活習慣、その中でも朝ご飯をしっかりと食べてくるような子どもを育てることを目的とした事業ができないか考えている。

＜藤澤委員＞地域の様々な活動の話を色々な人から聞いていると、教育現場の人たちとは壁があるとよく言われる。また、子育て支援のNPOの人たちは、子育て家庭においても、手の届かない家庭は対応が難しいことから、妊娠期からいかに繋がりを持っておくかが重要で、養護施設や退所児童のアフターケアの部分でも、家庭へのアプローチについてはよく話題にされており、教育行政だけでは難しいところについては、そのような団体とも事例を共有してやっていければ良いのではないかと思う。

＜教育長＞藤澤委員の意見にあったような活動をしている団体等に、県の家庭教育に関する事業等の説明や意見交換をするような機会は、今はないのか。

＜生涯学習・文化財課長＞担当者レベルの会はあるが、そのような専門家や学識経験者が入ったものはない。

＜藤澤委員＞そういうものができれば、教育行政の壁を取り払うきっかけになるので良いと思う。

＜榎田委員＞教育に関連したNPO法人は、学習から家庭生活に至るまで幅広くあるが、そういった団体は活動資金が不足しているところが多いと聞くが、県からの補助等はどうなっているのか。

＜生涯学習・文化財課長＞当課からは、地域で子どもを育ててもらうことを目的とした「地域で教育」という事業の中で、わずかではあるが5、6団体に補助しており、その中には子育て支援のNPO法人等も入っているかと思う。

＜教育長＞福祉施策と教育施策の狭間にある分野で、どこに責任があるのかが不明確になっているのだと思う。

＜平野委員＞教育ができないというか、教育まで手が回らない家庭は、いくら講習会や研修会を開催しても、来る余裕がないので二極化してしまう。本当に福祉部局と連携していかないと、そういった家庭でも虐待が起きて、負の連鎖が止まらないと思う。

＜小坂委員＞先ほど説明のあった、東京オリンピックへの参加選手数なども目標設定にはよいと思うが、資料の30ページにある「すこやかな体をはぐくむ教育の推進」の中で、D評価になっている項目がいくつかある。競技力の向上も重要とは思いますが、児童生徒の体力や健康面も重要だと思うので、次の教育基本計画の策定に際しても、そういった内容を記載することについて十分に考えてもらいたい。

各委員に諮り、原案のとおり可決した。

- 議案第2号 令和2年度教育文化功労者表彰について（非公開案件）
総務課長から、令和2年度教育文化功労者表彰について諮る旨、説明。

各委員に諮り、原案のとおり可決した。

- 議案第3号 令和2年度教育実践優秀表彰について（非公開案件）
義務教育課長から、令和2年度教育実践優秀表彰について諮る旨、説明。

各委員に諮り、原案のとおり可決した。

- 議案第4号 令和2年度教育功労者表彰について（非公開案件）
義務教育課長及び高校教育課長から、令和2年度教育功労者表彰について諮る旨、説明。

各委員に諮り、原案のとおり可決した。

8. その他事項

- その他事項1 令和3年度から市町（学校組合）立小・中学校で使用する教科書について
義務教育課長から、令和2年度から市町（学校組合）立小・中学校で使用する教科書について説明。

【質疑・意見交換】

＜藤村委員＞教科書採択にあたり、先日、県内の教科書センターを2か所訪問したが、その感想として、教科書は単に置かれているだけで、それらを積極的に見てもらうために展示しているという感じではなく、改善の余地があるのではないかと思う。特に、現在使用している教科書を重点的に展示して、実際に手に取って見てもらいやすくするなど、香川県として教科書を積極的に公開しているという雰囲気づくりをしてもらいたい。

○その他事項2 令和3年度香川県立高松北中学校入学者選抜実施細目・募集要項について

高校教育課長から、令和3年度香川県立高松北中学校入学者選抜実施細目・募集要項について説明。

【質疑・意見交換】

＜平野委員＞性別の記載欄がなくなったことは、良いことだと思う。面接については、グループ面接なのか、単に2つのグループに分けて個人面接をするということなのか。

＜高校教育課職員＞2つのグループに分けているが、個人面接である。

＜教育長＞県外から受検を希望する場合、香川県証紙は県外でも購入できるのか。

＜高校教育課職員＞香川県証紙は県外では購入することはできない。県立高校の入試では、県外からの受検希望者については、郵便為替でも対応可能としており、高松北中学校の場合も同様の対応は可能である。

＜藤澤委員＞募集要項10ページの間6に「香川県証紙は、どこで買えるのか」という項目があるので、そこに説明を記載するのが分かりやすいのではないか。

＜高校教育課長＞県外からの受検希望者については、藤澤委員から提案された箇所、補足説明を付け加えることで対応することを検討したい。

＜藤村委員＞競争倍率は年々上がってきているのか。

＜高校教育課長＞競争倍率は一時下がっていたが、3年前に選抜方法を変更してから持ち直しており、極端に上がっているわけではないが、ある程度安定した倍率になっている。

＜教育長＞9月26日の説明会は、どの地域の方が集まるのか。

＜高校教育課職員＞例年、高松市内の受検希望者や保護者が多いと学校からは聞いている。

＜藤澤委員＞県外からの参加者はいるのか。

＜高校教育課職員＞昨年度までは申込制をとっていたが、今年度については6月のオープンキャンパスが中止になったこともあり、申し込み不要として実施するので現時点では把握していないが、説明会の開催案内を高松北中学校及び県教委のホームページにも掲載しており、県外からの参加者もいると考えている。